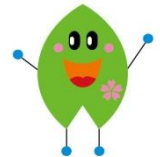




光春小だより

- 元気な子
- 思いやる子
- 考える子



H29. 1. 10

練馬区立光が丘春の風小学校 校長 福田 純子

春風ちゃん

〒179-0072 練馬区光が丘7-2-1 Tel 3976-5861 Fax 5383-3592

たった一人の存在

副校長 高野 正之

先月、6年生と一緒に練馬区小学校連合音楽鑑賞教室に行ってきました。オーケストラの奏でる美しい音色に吸い寄せられるように、子供たちは身を乗り出して聴き入っていました。子供たちの生き生きとした横顔と、きらきらした瞳が印象に残りました。1時間の公演時間が短く感じられるほど充実した内容でした。

プログラムの最後は、ドヴォルザーク作曲による「交響曲第9番 ホ長調『新世界より』第4楽章」でした。

司会より「演奏の途中でシンバルの音によって場面が変わる」と紹介があったので、気にしながら鑑賞を続けました。

序奏は低音でゆっくりと始まり、ホルンやトランペットによって、第1主題が夜明けを告げるように高らかに勇ましく演奏されます。

しばらくすると、じっと座っていた一人の奏者がシンバルを手にしました。やがて、シンバルが静かに打ち鳴らされました。

すると、クラリネットによる緩やかな第2主題が演奏され、安らかな憩いもたらされます。後奏では、再び主題が力強く演奏され、フィナーレを迎えます。

何とシンバルは、10分ほどの演奏の中で、1回しか出番がありませんでした。

一般的にシンバルは、盛り上がった最高潮の部分で、派手な音を鳴らす用法が多いのですが、『新世界より』では、全く逆の用法になっています。弱すぎると聴こえず、少しでも強いと演奏の印象が変わってしまいます。

80人近いオーケストラの中で、たった一人の一瞬の演奏が大切な役割を果たしていると知り、音

楽の奥深さ、チームワークの大切さを感じました。

同じ週に、都内の小学校で行われた研究発表会に行き、パラリンピアンの大西瞳選手の講演を聞くことができました。

大西さんは、右足の太もも部分から下を切断された義足アスリートです。リオデジャネイロパラリンピックでは、100メートル走と走り幅跳びに出場され、上位入賞を果たしました。競技以外にも、情報バラエティー番組に出演したり、テレビコマーシャルに起用されたりと活躍の幅を広げています。

学校関係者からも出前授業や講演の依頼があり、最初は全て断っていたそうです。しかし、大西さんに転機が訪れます。それは、同じく病気で義足生活を余儀なくされた青年の語った一言だったといえます。

——「小学校の授業に来てくれたパラリンピアンのことを思い出し、自分も可能性に挑戦しようと思いました。」と。

以来、自分も誰かの役に立てるはずだと、学校からの依頼も引き受けるようになったそうです。

自分の限界に挑戦する一人の姿は、周囲の人を勇気づけ、生きる力を与えてくれます。一人の存在がいかに大きいかを学ばせてもらいました。

子供たちは、誰もがその子にしか果たせない使命があります。その使命を自分らしく発揮し、仲間と素敵なハーモニーを奏でながら、楽しく学校生活を送れるように、教職員と力を合わせ、進んでまいります。

保護者、地域の皆様には、今年も大変お世話になります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

いいな～音楽 「ホワイトスノー ウィンターコンサート」

音楽専科 中村 るい子

音楽委員会では、夏と冬に全校児童に呼びかけて出演者を募りコンサートを行っています。夏のコンサートは、朝の集会の時間だけですが、冬のコンサートはロング集会で行われます。

今回も12月21日（水）3校時に「ホワイトスノー ウィンターコンサート」を催しました。今回は全部で14組の応募があり、この日のために運営する音楽委員も入念に準備をしてきました。

コンサートの内容は、①わたしのお気に入り、②クリスマスソング、③ノリノリソングの三部構成です。出演する子供たちは、選曲から楽器分担、振付などを相談しながら自分たちで練習してきました。当日は、緊張しながらも練習の成果を発揮し、精一杯演奏していました。スペシャル演奏の全教員による「風になりたい」の演奏では、会場は大いに盛り上がりました。演奏を聴いている子供たちも声援を送ったり、手拍子で参加したりして、全校で“音楽の世界”を共有できた温かい素敵なコンサートとなりました。



体力向上を目指して

持久走大会

体育主任 白畑沙都

12月10日（土）に、本校校庭および春の風公園を会場に、持久走大会を行いました。ねむのき橋の補修工事に伴って新たなコースを設定し、1・2年生は校庭で、3年生以上は春の風公園で力走を繰り広げました。

当日は、保護者・地域の皆様の温かいご声援で、子供たちは元気に走ることができました。また、子供たちが安全に走ることができるようにと、朝早くからコース整備のためにお集まりいただいたり、コース上の誘導をしてくださったりと、本当にたくさんの方のご協力のもと開催することができました。寒い中、ありがとうございました。

今後も、子供たちが体力を高めることができるよう、指導して参ります。

みんなでピョンピョン!!なわとび月間

寒い1月になると、子供たちは、朝休みや中休み、なかなか外遊びに出たがりません。しかし、健康保持のためには、栄養・休養・運動の3つのバランスが大切です。そこで、1月をなわとび月間とし、全校でなわとびに取り組みます。まずはカードを基に自分の跳びたい技を練習します。休み時間には「勇気100パーセント」の音楽に合わせてリズムなわとびをします。風邪やインフルエンザの流行する季節です。みんなで「元気100パーセント」になれるよう取り組んでいきます。

園児との交流

1年担任 江森 由英

幼保小連携の一環として、1年生は、光が丘第三・四・五・六保育園の園児と交流しています。11月には各保育園を訪問し、歌やゲームなどをおして園児と顔見知りになりました。12月には、ミニ先生として体験授業を行いました。学校の中では一番年下の1年生ですが、交流では、お兄さん・お姉さんとして、授業のアドバイスや校歌の紹介など立派にすることができました。

校歌紹介

素早く整列し、大きな声で校歌を歌いました。整列の仕方や歌い方で手本となれるように、たくさん練習して当日を迎えました。



校歌の発表

- ・校歌を発表した後、歌うのが上手だねと言われて嬉しかったです。
- ・校歌を知っている子がいて、驚きました。
- ・並んだときは少し恥ずかしかったけれど、上手に歌えて良かったです。

授業体験

算数の「かたちあそび」の授業をしました。黒板に提示された形を、各自が色板を使って作りました。1年生はミニ先生として、園児が作業している横で、アドバイスをしたり、一緒に色板を動かしたりしました。

- ・教えてあげることが、楽しかったです。
- ・静かに考えていて、すごいと思いました。
- ・もっといろいろなことを、教えたいです。



体験授業の様子

ランドセル体験

園児が、1年生のランドセルを背負いました。「1年生になるんだ」という気持ちが高まったようです。「おも〜い」と言う子もいました。背負う園児も手伝う1年生も、ぎこちない様子で微笑ましかったです。



ランドセル体験

1月の行事予定

日	曜	時程	ひろば	行事予定
1	日			元日
2	月			振替休日
3	火			
4	水			
5	木			
6	金			
7	土			冬期休業日終
8	日			
9	月			成人の日
10	火	通4		始業式 なわとび月間始 給食始
11	水	通常		安全指導 クラブ (5校時) 1~3年4時間授業
12	木	水5		児童集会 春小チャンピオン
13	金	通常	○	学校公開日 書き初め展始 義足体験 (5年) 委員会 (6校時)
14	土	通常		学校公開日 道徳授業地区公開講座 1/2成人式 (4年) 講演会 (3・4校時)
15	日			
16	月	通常	○	全校朝会 計測 (5・6年) 5組保護者会
17	火	通常		社会科見学 (5年) 計測 (3・4年)
18	水	通常	○	ユニセフ集会 避難訓練
19	木	通常		縦割り班活動 計測 (1年・5組) クラブ
20	金	通常	○	誕生日給食 計測 (2年) 保護者会 (1・2年)
21	土			
22	日			
23	月	通常	○	全校朝会 ユニセフ募金 保護者会 (5・6年)
24	火	水5		ユニセフ募金
25	水	通常	○	ユニセフ募金
26	木	通常		春小チャンピオン クラブ
27	金	通常	○	校内書き初め展終 保護者会 (3・4年)
28	土			連合書き初め展
29	日			連合書き初め展
30	月	通常	○	幼保小連携 (5年)
31	火	通常		

<1月の生活目標>

礼儀正しくしよう

<1月のあいさつ目標>

できるかな?その場に合った言葉遣い

生活指導部 安居 寛和

冬休みは、親戚の方などにお会いする機会が多かったことと思います。そのような時、お子さんは礼儀正しく振る舞ったり、挨拶したりすることができたでしょうか。日々の生活でも、朝や帰りの挨拶はもちろん、何かをしてもらった時に「ありがとう。」と感謝の気持ちを伝えたり、失敗した時に「失礼しました。」「ごめんなさい。」とお詫びの気持ちを伝えたりして、お互いに礼儀を尽くしての生活を心がけたいものです。